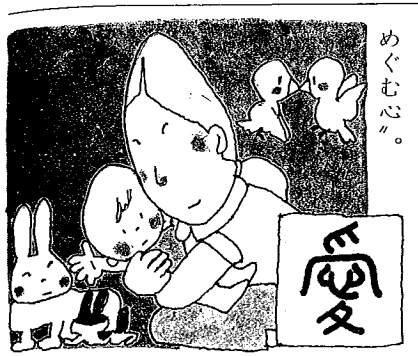
愛

【4年】

13画



くん　おん　アイ

なりたち　物を与える形を表した爫と、足を表した夂と、心との会意字。人に物を恵む心をもち、かつ、それを行うという意味の字。〝いつくしみめぐむ心〟。

いみとじゅくご
▼いつくしむ。かわいがる。
愛情…相手を心からかわいいと思い、いつくしむ気持ち。
愛育…愛情をもって育てること。いつくしみ育てること。
愛児…愛する子供。かわいがっている子供。
慈愛…いつくしみめぐむ心。
▼男女がしたいあう。
恋愛…男女がしたいあうこと。例恋愛結婚
相愛…男女が共に、互いをしたい合うこと。例相思相愛
▼好む。
愛好…好むこと。用例音楽を愛好する。
愛用…好んでいつも使うこと。例愛用品
▼大切にする。
自愛…自分を大切にすること。
よみかた　愛称・愛惜・愛想・愛着・愛読・敬愛・親愛

憂

【15画】

くん　おん　ユウ　うれえる・うれい・うい

なりたち　頭の意味の百と、心がふさがる意味の心と、下向きの足の形の夂との会意字。心がふさがれていて、何を行うのにも悩みが重くのしかかるさまを表した字。〝うれい・うれえる〟こと。

いみとじゅくご
▼うれい。うれえる。
憂愁…うれい。物思い。
憂慮…心配して、あれこれ考えること。
憂色…心配そうな顔色。用例憂色が深まる。
憂国…国をうれえること。用例憂国の情にうたれる。
一喜一憂…情況の変化につれて、喜んだり、心配したりすること。
憂き身…つらい事が多い身の上。用例憂き身をやつす。（熱中して身もやせるほどだという意味。）
憂き目…つらい目。つらい体験。用例憂き目に会う。

処

【6年】

5画

くん　おん　ショ

なりたち　旧字体は處。腰かけの形の几と、足の形の夂と虎との会意形声字。腰かけて足を休めることを表した字。居と同じ意味。〝おる・おると ころ〟。転じて、〝とりさばく〟意味に用いられる。

いみとじゅくご
▼おる。いる。
処世…世間で暮らしていくこと。例処世術（世間をうまく渡っていく技術。）
▼家にいる。
処女…❶結婚していない女の人。❷人の手が加えられていないこと。例処女地 ❸初めてのこと。例処女航海
▼とりさばく。
処置…物事をとりさばいて、きまりをつけること。処理。
処罰…罪を犯した者をとりさばいて罰を与えること。
よみかた　処刑・処断・処分・処方・処理・随処・善処

拠

8画

くん　おん　キョ・コ

なりたち　旧字体は據。虎と豕（いのしし）と組み合う意味の虡（ま）と手との会意形声字。虡は場所を占める意味、手はたよる意味。場所を占めてそこをたよりとすることを表した字。〝より所とする〟こと。

いみとじゅくご
▼よりどころとする。
根拠…よりどころ。よりどころになる理由。もとは「根城」の意味。本拠。
本拠…根本となるよりどころ。生活や仕事をする中心の場所。
依拠…よりどころとすること。基づくこと。
論拠…議論や意見のよりどころ。用例しっかりとした論拠に立った意見。
典拠…話や文章のもとになった、正しいよりどころ。
▼よりどころとして、たてこもる。
割拠…何人もの人が自分の勢力範囲にたてこもって、争うこと。例群雄割拠
占拠…ある場所を占領して、たてこもること。
よみかた　拠出・拠点・証拠